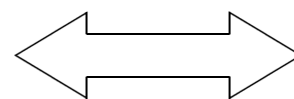


## 学校教育目標

○ 胸を張り理想にもえる健康人 ○ 肩を組み平和で民主的な社会人 ○ 賢く正しく正義を愛し創造性豊かな文化人 ○ やり通そう意志強固な実行人

## 凌雲中校区CS目標

生きてはたらく力を身に付けた15歳の凌雲中校区の子ども



### めざす生徒像

○いじめを憎しみ、心身共に健康で明るい生徒 ○規律を重んじ、責任感の強い生徒

### めざす学校像

○正義を愛し正義を正しく、楽しさと潤いに満ちた（魅力ある）学校

### めざす教職員像

○即行動する教職員 ○教職員と協働することができる教職員○生徒と共に歩むことができる教職員○自ら学ぶ意欲をもち、生徒一人ひとりを生かす授業を目指す教職員○生徒のことを一番に考える教職員 ○常に自らを変革することができる教職員

## 学校課題

1. 学力・体力の向上 (1)授業改善 (子どもが主語の4つの共通取り組み事項(見通す・決定する・協働する・振り返る) 共通取り組み事項(焦点化イメージ化視覚化) (2)家庭学習の量と質の充実 (3)基本的な生活習慣・学習習慣の改善 (『通信情報機器使用の約束』推進) (4)生徒会・常任委員会活動等での取組(5)家庭と連携した取組
2. 研修活動の充実 G I G A スクール構想 (ICT機器整備と学習指導の充実) (1)授業に直結する校内研修の取組 (2)校外研修への積極的な参加 3. 不登校生徒への予防的取組
4. コロナ禍における社会の加速度的な変化に対応できる資質・能力の育成 (1)「社会に開かれた教育課程の実現」に向けたカリキュラムマネジメントの充実 5. 特別支援学級(通級指導教室)及び通常学級における特別な配慮が必要な生徒の共通理解と取組

## 学校経営の基本方針

1. 『「生きる力」の育成』学習指導要領の趣旨を理解し、教育活動を進める。 ○創意工夫し、感動を与え、主体的・協働的で深く学ぶ学習指導に努める。
2. 『「豊かな心」の育成』自他のいのちを大切に、温かな心を育み、自律心を育てる。 ○思いやり、優しさなどの豊かな心を育てる指導に努める。 ○道徳的判断力、実践力を育て、自ら考えて行動する力を育てる指導に努める。
3. 『プロ意識をもつ教師』一人ひとりの力量を高める研修の充実を図る。 ○未来を切り拓く資質能力を育む授業づくりを目指した研修の推進を図る。 ○日常の授業実践を重視した計画的な校内研修の推進と充実を図る。
4. 『チーム学校』教職員相互の意思疎通を図り、教職員の協働体制を目指す。 ○教職員相互の信頼関係を築き、学校課題の共有化を図る。○報告、連絡、相談体制を築き、適切な対応ができる協働体制を図る。
5. 『エリア中学校校区』小学校との連携家庭、地域との連携を深め、協働し、信頼に応える学校づくりに努める。 ○教育活動を家庭、地域へ発信し、情報収集し、信頼される学校づくりに努める。○保護者、地域との連携を深め、相互に協力し、開かれた学校づくりに努める。
6. 『働き方改革』の推進、充実した職場環境づくりに努める。 ○校務支援システムの効果的な活用○部活動ガイドラインの推進○部活動の地域移行への円滑な取組支援

### スローガン『教師と生徒の信頼関係を醸成する教育活動の推進共有』

～「感動の共有」「連携」による信頼関係の醸成をベースに～

本校はこれまで、「感動の共有」「連携」をベースに教育活動を展開し、成果を上げてきた。生徒と共に、取り組みに工夫を加え、感動を共有することで、教師と生徒との信頼関係の構築、生徒同士のよりよい人間関係づくりを進めてきた。すべての教育活動の根底には（信頼関係）が不可欠である。生徒の可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びとの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくりでは、生徒間の信頼感・安心感があってこそ、より深い授業の展開が可能となる。また、教師と生徒との信頼関係があってこそ十分な生徒理解を基盤とした適切な生徒指導を行うことができる。それらは、教師個々の力量のみで実践できるものではない。すべての教師が情報を共有し、「連携」「協働」できる教師集団としての力量を高め続けることが大切である。感動を共有する場面を意図的に効果的に設定し、教師集団として組織的・機動的に対応することにより、生徒・保護者・地域から信頼される学校づくりに進めたい。職員それぞれが創意工夫を発揮し、「教師と生徒の信頼関係を醸成する教育活動の推進」を踏まえ、学校教育目標の具現化に迫りたい。

## 具体的な取組及び方策及び数値目標

創意工夫し、感動を与え、主体的・協働的で深く学ぶ学習の取組

自他のいのちを大切に、温かな心を育み、自律心を育てる取組

家庭、

## 具体的な取組事項

### 個別最適な学びと協働的な学びの充実を意識した授業改善

○子どもが主語の共通取組事項(見通す・決定する・協働する・振り返る)の推進 ○共通取組事項(焦点化・視覚化・イメージ化) ◎アンケート「授業がわかる」国語100%数学100% 家庭学習1時間未満0% 学校が楽しい85%  
学習サポートの充実 ○放課後学習会、長期休業中の学び直しの機会の充実 ○自分ログの活用○小学校と連携した家庭学習の推進 ○学習のきまりの確立学習指導要領に向けた教育課程の編成○各教科部会での指導と評価の取組○ICT機器の効果的な活用○デジタル教科書活用 英語・理科 特別支援教育の充実○通常学級における支援や配慮を要する生徒への手立ての確立○個別の支援計画の活用○個別支援計画に基づく情報共有及び効果的、適切な指導○個別の指導計画の共有○通級指導の効果的な活用、充実

### 不登校への対応

○SSW及び関係機関との連携 ○生徒指導理解・教育支援シートの活用、組織的な対応 ○自己有用感を育む学級づくり(居場所・絆) 魅力ある学級 ○こころの教室相談員の活用 ○道派遣SCの活用 いじめ問題への対応 ○アンケート及び個人面談の実施 ○生徒会が主体のいじめ根絶に向けた取組の実施 ○日常の観察記録の活用 ◎アンケート月1回「いじめは許されない」100%道徳教育の充実 ○道徳授業の改善(考えさせ、話合う道徳) ○外部講師による実体験に基づく授業の実施) 運動の日常化 ○常任委員会の活動の充実 ○保健体育授業の改善・充実 ○体力向上プランの確立 ◎生徒質問紙「運動が好き」 100%

### 学校力向上

○人材育成(ミドルリーダー・若手教員) ○教師力(資質・能力)の向上 ○働き方改革(勤務時間、部活動) 定時一斉退勤・定時一斉退勤促進日 部活動平日2時間・休日3時間 平日・休日各1日 家庭・地域との連携 ○部活動地域移行の取り組み○学校の取り組みの発信(学校便り、HP) ○家庭学習の推進 ○「学びの3ヵ条」推進による生活習慣の確立 ○CSの取組 近隣校との連携 ○学校教育力向上エリア会議充実 ○教科、特別支援における実践交流 ○特別支援教育における支援体制の充実 ○生徒指導等の情報共有